

【事例⑬】

安来市

- ・人口は、約4万人
- ・安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置し、面積は420.97km²です。



安来市キャラクター「あらエッサくん」

★金属類(小型家電含む)を分別収集し、非鉄、小型家電等に手選別し、売却するメリットは？

- ①ごみの減量化、②資源の有効利用、③処理費用の削減、④住民のリサイクル意識の高揚

★分別・収集した金属類から、小型家電等を手選別するようになったきっかけは？

希少金属の重要性が話題となり、将来的な需要、処理方法が確立されることを見込み、平成19年度から手選別を始めた。

★金属類からどのように手選別しているの？

・月に1回、分別収集した金属類をクリーンセンターに搬入し、小型家電、基盤、ゲーム機、携帯電話、非鉄類、鉄類等に手選別し、再資源化業者に売却
※小型デジタル家電はボックス回収も実施)



★一般廃棄物の回収量は？そのうち小型家電等の回収実績はおおよそどのぐらい？

・平成22年度の一般廃棄物は10,965トン/年。そのうち、小型家電は27トン/年。うち、基盤・ゲーム機・携帯電話は、480kg/年。

★小型家電等(基盤等含む)の売却価格は？

・小型家電は8.4円/kg、基盤は99.75円/kg、ゲーム機は66.15円/kg、携帯電話は899.85円/kg。
※運搬費を含む

★エコリッチ/Ecoとステーションとは？

・貴金属やブランド品、中古携帯、金券、化粧品等のリユースを行う「エコリッチ」に家庭から廃棄される小型家電や鉄くずや古紙、プラスチック等を回収する「資源回収コーナー」を併設したリユースとリサイクルの業界発のハイブリッドショップ。

・現在、香川県内で7店が営業中で、フランチャイズオーナーを募集中。



＜安来市から基板・ゲーム機・携帯電話を買入れ＞

(有)協同回収

- ・所在地: 香川県三豊市
- ・資本金: 1,000万円
- ・従業員: 70名



★小型家電を取り扱うようになったきっかけは？

・電子基板を金銀滓として売却するため、障害者の雇用を行い、電子機器等の手分解を始めたが、リーマンショック後、こうした取組が難しくなり、解体作業時間の短縮と低コスト化を図る新型の分離剥離再資源化装置を導入(障害者雇用は維持)。この際、物量の確保を図るため、小型家電も取り扱うようになった。

★小型家電の買入先と量、価格はどのぐらい？

・事業者(同業者含む)から225トン/月、自治体(集団回収含む)から10トン/月、一般消費者(エコリッチ含む)から15トン/月の計250トン/月の家電スクラップを買入れその内小型家電は60トン/月

・買入価格は、10~1,200円/kg程度(品目毎に査定)

★小型家電の解体・破碎、選別処理の内容は？

・新型の分離剥離再資源化装置で、解体・破碎し、基板くず、鉄部材、銅、ステンレス、アルミ、プラスチックなどに手選別



★抽出した金属等のゆくえは？

・国内大手製錬メーカー、銅製錬メーカー、ステンレスメーカー、大手アルミサッシメーカー、プラスチックリサイクルメーカーに売却

★その他の取り組みは？

・小型家電リサイクルを促進させる為、ノウハウを提供し、一連のシステムを全国へ普及させる活動を行っている。

■問い合わせ先

安来市 市民生活部 環境衛生課
有限会社協同回収
リサイクルショップ エコリッチ

電話：0854-23-3102
電話：0875-83-5252
電話：087-823-5353